

# AQUA 対応補足資料 Rev.1

エレクタケアサポートセンター 0120-659-043

Email ecsc@elekta.com Fax 03-6436-4233

## 目次

«改訂履歴»	3
«主な改定内容»	3
はじめに	4
1. Image Based Test	4
1-1 Integrity(治療機)にビーム転送ができない	4
1-1-1 iCom ポートの競合が起きている場合	4
1-1-2 Service が重くなっている場合	5
1-1-3 上記で解消されない場合	6
1-2 画像は取得できているが AQUA で解析しない	7
・ iViewGT の異なるデータベースを使用している場合	7
1-3 Isocenter Runout Gantry (Short) LinacConnect テストが行え	えない8
・ XVI で照合画面のままである場合	8
1-4 MLC Leaf and Jaw Position LinacConnect テストの結果が悪い	٥9
・ Ball Bearing(BB)を設置してしまっている場合	9
1-5 CT Image Performance Analysis テストが解析しない	9
1-5-1 CAT Phantom の設置位置が悪い場合	9
1-5-2 XVI を 5.0.6→5.0.7 にバージョンアップを行った場合	10
2. Image Based Test 以外のテスト・操作	12
2-1 AQUA のその他テストやアプリケーション関連	12
・ AQUA のアプリケーションが使用できない場合	12
2-2 サードパーティ社製機器	12
2-2-1 DOA3(Sun Nuclear 社)のデータがアップデートされてい	<b>ない場合</b> 12

## **2-2-2** 上記時間内にも関わらず、データがアップデートされない場合......14

«改訂履歴»

2024年6月26日:初版

«主な改定内容»

## はじめに

本書は AOUA ユーザー向けとなります。

テスト項目が実施できないなどのトラブル対応の補足としてご確認いただく資料となり、 過去の事例をもとに作成しております。

本書をご確認いただいても解消されない場合やご不明点などございましたら、エレクタケアサポートセンターまでご連絡ください。

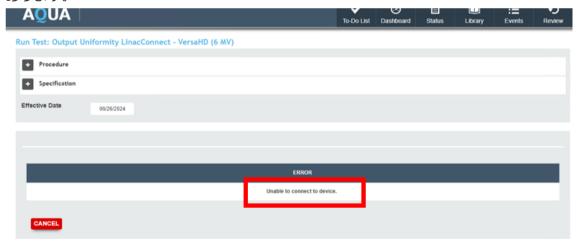
電話番号: 0120-659-043 Email: ecsc@elekta.com

## 1. Image Based Test

AQUA では装置と接続して自動で解析するテスト (Image Based Test) があります。 Image Based Test に関連した事例になります。

#### 1-1 Integrity(治療機)にビーム転送ができない

AQUA 上で"Unable to connect to device"のエラーが出て接続ができないことがあります。



#### 1-1-1 iCom ポートの競合が起きている場合

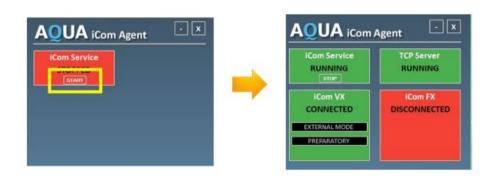
【原因】iCom の競合が起きている可能性があります。iCom の接続機器は仕様上4つ 以内になるように、確認する必要があります。

【対応方法】AQUA は治療機と接続されている MOSAIQ(シーケンサー)で使用する場合が多く、MOSAIQ のアプリケーションを閉じて使用ください。

※iCOM 接続機器

iViewGT, MOSAIQ(AQUA), Catalyst, EPIgray, IQM MOSAIQ と AQUA に関しては、使用時どちらか一方になるようにします。 他社製品も iCOM を使用する可能性があるので各ベンダーにご確認ください。

AQUA は iCom Agent の ON/OFF によって iCom を使用します。



#### 1-1-2 Service が重くなっている場合

【原因】Service が重くなっている可能性があり、iCom Agent 内の iCom Fx(AQUA から治療機の接続)が DISCONNECTED のままで接続されないことがあります。

【対応方法】AQUA サーバーの再起動を行い、解消されることがあります。

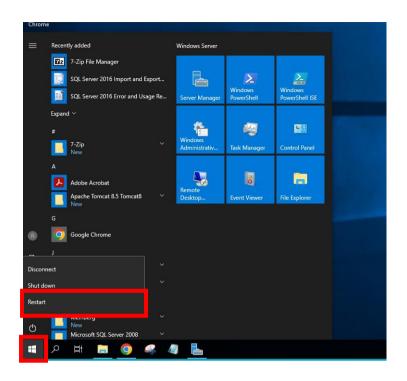
AQUA サーバーのウィンドウ上で「Ctrl+Alt+Delete」を押し、以下のユーザー名と パスワードを入力しクリックしてログオンします。

ユーザー名: administrator

パスワード: Password!

ログオン後、デスクトップ画面が立ち上がります。

AQUA サーバーのデスクトップ画面左下のスタートキーをクリックし、【Restart】 (再起動)の順でクリックします。

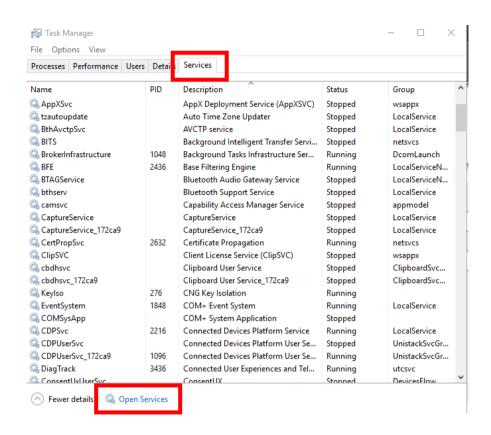


#### 1-1-3 上記で解消されない場合

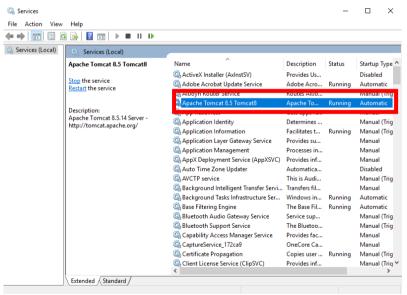
AQUA(Tomcat)の Service の再起動を行います。

AQUA サーバーのデスクトップの左下検索にて Task Manager(タスクマネージャー) と入力し、タスクマネージャーを開きます。

Services タブを選択し、左下の Open Services をクリックします。



Services が開けたら、"Apache Tomcat..."を選択し、Restart ボタンをクリックします。



#### 1-2 画像は取得できているが AQUA で解析しない

> iViewGT の異なるデータベースを使用している場合

AQUA 上で"Error during function call, contract support: wait for imaging time out on export using iviewGT interface"のメッセージがでます。

【原因】iViewGT のデータベースが AQUA で使用するデータベースでない可能性があります。

【対応方法】iViewGTへはAQUA専用のデータベースにログインします。※使用するデータベースは施設によって異なる場合がございます。

下図のようにログイン先を指定後、次のユーザー名、パスワードでログインしてください。

ユーザー名: aqua

パスワード: AquaQA\_30

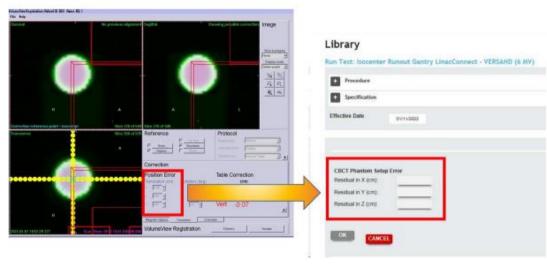


## 1-3 Isocenter Runout Gantry (Short) LinacConnect テストが行えない

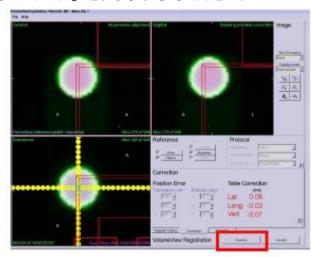
#### > XVI で照合画面のままである場合

【原因】XVI にて Ball Bearing(BB)を撮影し照合画面のままになっている可能性があります。そうした場合、AQUAから治療機にビーム転送が行えません。

【対応方法】取得した CBCT Position error 値を AQUA の CBCT Phantom Setup Error に入力したら、



XVI の照合画面で「Dismiss」をクリックしてください。



#### 1-4 MLC Leaf and Jaw Position LinacConnect テストの結果が悪い

#### ▶ Ball Bearing(BB)を設置してしまっている場合

MLC Leaf and Jaw Position テストで Jaw の結果が悪くなる事例がありました。 【原因】他の Image Based Test とあわせて実施する場合など、BB を設置したまま テストを行ったためでした。

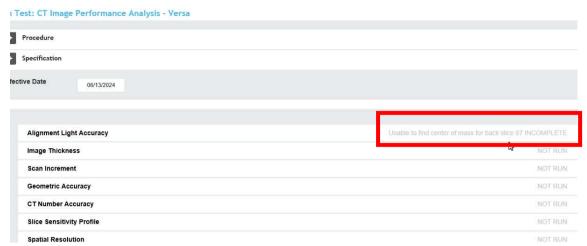
【対応方法】BB を設置せずにテストを行うと問題はありませんでした。

#### 1-5 CT Image Performance Analysis テストが解析しない

#### 1-5-1 CAT Phantom の設置位置が悪い場合

AQUA 上に**"Unable to find center of mass for back slice \*\* INCOMPLETE"** と表示され、解析できませんでした。\*\*は数字が記載されます。

過去に解析できた画像は問題なく解析できました。



【原因】セットアップや撮影条件に起因する画像へのノイズがあったため、解析でき なかったと考えられます。

【対応方法】CAT phantom をレーザーと合わせる際は、CAT phantom の型が 503 の場合はガントリから 2 番目のライン、600 の場合は 3 番目のラインに合わせているか確認しただき、ファントムの設置は、なるべくカウチから遠ざけるように(カウチの端に)設置してください。また、CBCT の撮影条件なども AQUA で使用するものか確認して再取得してください。



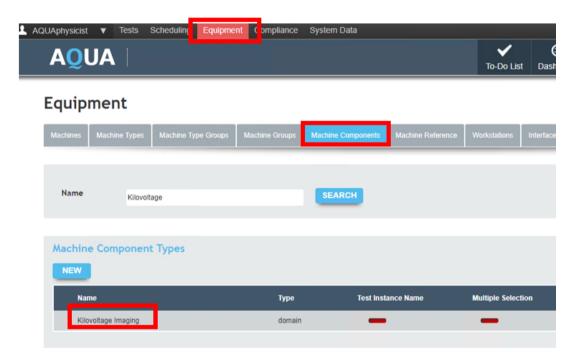
#### 1-5-2 XVI を 5.0.6→5.0.7 にバージョンアップを行った場合

XVI から画像を送信し、AQUA で start analysis ボタンをクリックすると、"No slices found that part of a Phantom INCOMPLETE"と表示され、解析できませんでした。過去に解析できた画像で試しても解析できませんでした。

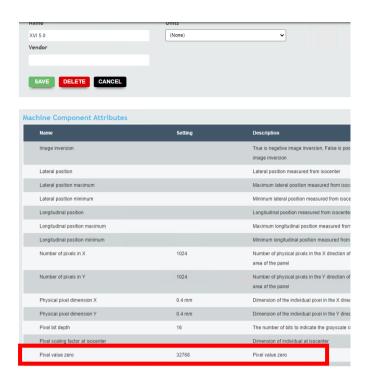


【原因】XVI 5.0.7 において、AQUA で下記設定が必要となったため解析できませんでした。

【対応方法】AQUA で Equipment タブ > Machine Component タブ > Kilovoltage Imaging に進み、



XVI 5.0 を選択し、 Pixel value zero = 0 だったものを 32768 に変更する必要があります。



## 2. Image Based Test 以外のテスト・操作

Image Based Test 以外のテストや操作に関連した事例になります。

#### 2-1 AQUA のその他テストやアプリケーション関連

#### > AQUAのアプリケーションが使用できない場合

AQUA にログインができない状態(パスワードを入れて装置を選ぶ画面でロード中の砂時計マークで先に進まない)になってしまったという事例がありました。治療機と周辺 PC に関しては再起動を実施したが復旧しませんでした。

まず AQUA サーバーの再起動を実施し、それでも解消しない場合は本書「1-1-3 上記で解消されない場合」の手順に沿って AQUA の Service 再起動を行います。

#### 2-2 サードパーティ社製機器

AQUA では一部サードパーティ社製機器と接続することが可能です。

※施設環境やソフトウェアのバージョンによっては接続できない場合がございます。

#### 2-2-1 DQA3(Sun Nuclear 社)のデータがアップデートされていない場合

DQA3 (Lite) Output Fatness Symmetry テストでは、DQA3 にて取得したデータを

AQUA にて指定した時間に自動でテストが解析されます。

Scheduling

【原因】AQUA の DQA3 のテストで指定した時間よりあとに実施されたため、データの更新がされませんでした。

【対応方法】指定した時間以前に DQA3 にて取得するか、あるいは AQUA でのテスト 開始時間を遅らせるかをご検討いただくことになります。

時間に関しては、Scheduling タブで該当のテストを選択し、確認ができます。また、To-Do List に表示されていればその画面で確認できます。

## User or Group - All --DQA3 Output Flatness Symmetry Machine -- All --VersaHD Time Period -- All --~ Schedule Search Results User or Group DQA3 Output Flatness Symmetry - VersaHD (6 MV, 00 Deg) Showing 1 of 1 To-Do List ₩ DQA3 2D Detector Array DQA3 (Sun Nuclear DQA3) Machine Off Test List -Al Show Lad file DQA3 Life Output Flathess Symmetry (15 MeV, 6 Deg) DQA3 Life Output Flathess Symmetry (4 MeV, 6 Deg) Daily (09:25) DGA3 Life Output Flatness Symmetry (6 MeV, 0 Deg) Dwly (29:30) DQA3 Life Output Flatness Symmetry (6 MV FFF, 9 Deg) Daily (09:15) DQA3 Life Output Flatiness Symmetry (6 MV, 0 Deg) DGA3 Life Output Flathess Symmetry (9 MeV, 6 Deg)

## 2-2-2 上記時間内にも関わらず、データがアップデートされない場合

本書「 1-1-3 上記で解消されない場合」の手順に沿って AQUA の Service 再起動を行います。